

ほごしゃ みなさま 保護者の皆様へ

家庭は、子供が最初に本と出会う場所です。日常生活において、すぐ手に取れる場所に本を置く、保護者が一緒に読書を楽しむなど、子供が自然に読書に親しむことができる環境づくりが必要となります。

*「うちどく」とは

読書を通して家族のコミュニケーションを図ろうという試みです。読んだ本について家族で話すことで、子供も大人も一緒に成長し、心の豊かさを育むことができます。

*第3日曜日は「うちどくの日」

毎月第3日曜日は「うちどくの日」です。週末（金曜日・土曜日）も含めて「うちどく」に取り組み、家族のコミュニケーションを深めるとともに、読書習慣を身に付けていきましょう。

*「うちどく」を始めるなら

まずは絵本からがおすすめです。絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。

*小さなお子さまの場合

読み聞かせをした時の反応を「うちどくノート」に書いてあげてください。子供の成長の記録として残すことができます。

毎月第3日曜日は“うちどくの日”

こども ほん みらい
子供とともに 本をひらこう 未来のページ
(『第2次大洲市子供読書活動推進計画』より)

うちどく



本で深める家族のふれあい

「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うこと。

「うちどく」で家族のきずなを深めましょう!

「うちどく」に決まったやり方はありません。たとえば、する日や時間を決めるとか、テレビやゲームはつけないとか、読む本のテーマを決めるとか、生活スタイルに合った“わがやの「うちどく」ルール”を作ってみましょう。

家族で本を読もう！

家の本棚、学校の図書室、市立図書館や本屋さん。町には本がたくさんあります。家族で図書館や本屋さんに行くのもいいですね。素敵な本との出会いが待っていますよ。



おおしりつとしょかん かい
大洲市立図書館2階
こぞだ しえん ない
子育て支援コーナー内

図書館には
うちどくコーナー
があります。



ひしかわぶんかん
← 肱川分館
ながはまぶんかん
↓ 長浜分館

よ ほん はな 読んだ本について話そう！



おもしろい本を見つけたら、家族に教えてあげましょう。一緒に読むと、その本をもっと好きになれるかも！読み終わったら、どんなことを感じたか、話し合ってみましょう。

よ ほん きろく 読んだ本を記録してみよう！

面白かった本は感想を書いてみよう！
おうちの人にも書いてもらってね。

おぼろめシート	読本	No. 2
本の題名	からすのおかしやさん	
作者	かこ きとし	絵画者
いつしょに読んだ人	おとうさん、おかあさん	かいせいしや
読んだ日	2020年 4月 6日~2020年 4月 7日	
読んだ感想	<p>おもしろかった本は感想を書いてみよう！</p> <p>おうちの人にも書いてもらってね。</p>	
おすすめ度	★★★★★	
おうちの人の感想	<p>おもしろかった本は感想を書いてみよう！</p> <p>おうちの人にも書いてもらってね。</p>	
おすすめ度	★★★★☆	

完成したノートや近隣の図書館に持って行くとミニ賞状とシールがもらえるよ。



おおしりつとしょかん
大洲市立図書館オリジナルの“うちどくノート”と“おすすめブックリスト”も用意しています。図書館のホームページから、ダウンロードもできます。



おすすめシートが全部書けたら、最後にランキングをつけてみよう。

